

【2015年度特定非営利活動法人北海道NPOファンド事業報告書】

2015年度事業活動報告 2015年10月1日～2016年9月30日

1. 北海道NPOファンドは2016年5月18日に認定を取得しました。
 - ・認定取得へ向けた活動に損保ジャパン日本興亜福祉財団より30万円の助成をいただきました
2. 「越智基金」、「被災者支援基金」の2基金からNPOへの助成金配分事業を行いました（次ページ参照）。
 - 1) 越智基金
 - 一般公募により、NPO法人・市民活動団体への助成を実施しました。
 - 応募総数：28団体
 - 助成決定団体：12団体 助成総額：84万円
 - 2) 被災者支援基金
 - 2015年度は、北海道へ避難されてきた方々の当地での活動に対して助成をしていくという方針のもと、下記団体へ助成を実施しました。
 - 助成団体：1団体 助成総額：20万円 「6年目の3.11」実行委員会
3. 道内を相次いで襲った台風等による被災者を支援する活動を行っている団体に対し支援金を助成するため、北海道洪水被害支援基金を創設しました。
(募金受付期間 2016年9月15日～10月31日)
4. 個人や団体等からの基金の原資を増やす下記の活動を行いました。
 - 1) 各基金の寄付額は以下の通りです。

基金名	金額 [円]	寄付件数 (個人、団体) 等
越智基金	99,800	2件 北海道ろうきん自動寄付制度より 16,800円
被災者支援基金	49,210	3件
台風救援支援基金	28,866	2件 他に街頭募金、イベント
合計	177,876	

- 2) 北海道洪水被害支援基金を創設し、下記の通り、募金活動を行いました。
 - 募金告知方法：チラシ、北海道NPO情報、ホームページ、フェイスブック等
 - 募金受付方法：街頭、イベント、銀行振り込み、事務局へ現金
 - 各イベントにおいて、当法人の情報を提供、参加者にチラシやリーフレット等を配付し、寄付を呼びかけました。
 - 9月15日、16日に札幌三越交差点にて街頭募金を行いました。
 - ※募金受付終了時点では、函館での募金活動や旭川からの寄付等により、寄付総額は207,501円となりました。

【2015年度 北海道NPOファンド 助成事業】

※ N)は、特定非営利活動法人
一社)は、一般社団法人

■ 越智基金

●助成実施：2016年9月 12団体 総額84万円助成

助成先	所在地	助成先	所在地
一社)そらちアダプテッドスポーツ協会	岩見沢市	N)オアシス	砂川市
N)陽向ぼっこ	白糠町	N)キヤンサーサポート北海道	札幌市
N)利尻ふる里・島づくりセンター	利尻町	N)北海道新エネルギー普及促進協会	札幌市
N)北海道学習障害児・者親の会クローバー	札幌市	N)市民と共に創るホスピスケアの会	札幌市
N)駆け込みシェルター釧路	釧路市	重複聴覚障害者と高齢ろうあ者の在宅福祉を考える会「とも」	札幌市
N)女性サポートAsyl(あじーる)	札幌市	N)札幌市精神障害者家族連合会	札幌市

■ 被災者支援基金

●助成実施：2016年2月 1団体 総額20万円助成

助成先	助成金の使途	所在地
「6年目の3.11」実行委員会	「6年目の3.11」開催費用の一部として	札幌市

2015年度 決算報告及び監査報告

特定非営利活動に係る事業活動計算書

2015年10月1日から2016年9月30日まで

特定非営利活動法人 北海道 NPO ファンド

単位:円

科目	決算
I 経常収益	
受取寄付金	177,876
事業収益	0
受取助成金	0
雑収益	673
経常収益計	178,549
II 経常費用	
1.事業費	
(1)人件費	
人件費計	0
(2)その他経費	
支払助成金	1,040,000
その他経費計	1,040,000
事業費合計	1,040,000
2.管理費	
(1)人件費	
人件費計	0
(2)その他経費	
旅費交通費	500
通信費	795
租税公課	1,800
業務委託費	240,000
その他経費計	243,095
管理費計	243,095
経常費用計	1,283,095
当期正味財産増減額	△ 1,104,546
前期繰越正味財産額	12,342,805
次期繰越正味財産額	11,238,259

その他の事業に係る活動計算書該当なし

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

単位:円

特定非営利活動法人北海道 NPO ファンド

2016年9月30日現在

資産の部			負債及び正味財産の部		
I 資産の部			II 負債の部		
流動資産			流動負債		
現金・預金	6,538,259		前受金	300,000	
流動資産合計		6,538,259	流動負債合計		300,000
固定資産			固定負債		
出資金	5,000,000		固定負債合計		0
			負債合計		300,000
			III 正味財産の部		
			前期繰越正味財産	12,342,805	
			当期正味財産増減額	△ 1,104,546	
固定資産合計		5,000,000	正味財産合計		11,238,259
資産合計		11,538,259	負債及び正味財産合計		11,538,259

その他の事業に係る貸借対照表該当なし

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日改正 NPO 法人会計基準協議会)によっています。

2. 事業費の内訳

事業別損益の状況は以下の通りです。

科目	<本部>	<越智基金>	<被災者支援基金>	<AFH基金>	<台風救援支援基金>	<合計>
【経常収益】						
受取寄付金		99,800	49,210		28,866	177,876
事業収益						0
受取助成金						0
雑収益		241	432			673
経常収益計	0	100,041	49,642	0	28,866	178,549
【経常費用】						
1.事業費						
(1)人件費						
人件費計	0	0	0	0	0	0
(2)その他経費						
支払助成金		840,000	200,000			1,040,000
その他経費計	0	840,000	200,000	0	0	1,040,000
事業費合計	0	840,000	200,000	0	0	1,040,000
2.管理費						
(1)人件費						
人件費計	0	0	0	0	0	0
(2)その他経費						
旅費交通費	500					500
通信費	795					795
租税公課	1,800					1,800
業務委託費	240,000					240,000
その他経費計	243,095	0	0	0	0	243,095
管理費計	243,095	0	0	0	0	243,095
経常費用計	243,095	840,000	200,000	0	0	1,283,095
経理区分振替額	240,695	△ 148,076	△ 92,619			0
当期正味財産増減額	-2,400	△ 888,035	△ 242,977	0	28,866	△ 1,104,546

3. 用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は 11,238,259 円ですが、そのうち用途が特定されている正味財産は下記の越智基金、被災者支援基金、AFH(Action For HOKKAIDO)基金、台風救済支援基金で使用される財産です。したがって、用途等が制約されていない正味財産は、305,601 円です。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額
越智基金	7,403,804	100,041	988,076	6,515,769
被災者支援基金	4,630,948	49,642	292,619	4,387,971
AFH基金	52	0	0	52
台風救援支援基金	0	28,866	0	28,866
合計	12,034,804	178,549	1,280,695	10,932,658

4. 固定資産の増減内訳

内容	前期繰越額	当期増加額	当期減少額	次期繰越額
出資金	5,000,000	0	0	5,000,000
合計	5,000,000	0	0	5,000,000

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

単位:円

特定非営利活動法人北海道 NPO ファンド

2016年9月30日現在

科目・摘要		金額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金		198,288	
小 口 現 金		0	
普 通 預 金	北海道労働金庫 本店	634,092	
	北海道労働金庫 本店	15,879	
	北洋銀行 北七条支店	1,222,237	
	北洋銀行 北七条支店	4,394,194	
	北洋銀行 北七条支店	30	
	北海道銀行 札幌駅北口支店	22	
郵 便 振 替	ゆうちょ銀行	73,517	
	流動資産合計		6,538,259
2 固定資産			
出 資 金	NPOバンク事業組合	5,000,000	
	固定資産合計		5,000,000
	資産合計		11,538,259
II 負債の部			
1 流動負債			
前 受 金	前受助成金(損保ジャパン)	300,000	
	流動負債合計		300,000
2 固定負債			
	固定負債合計		0
	負債合計		300,000
	正味財産		11,238,259

その他の事業に係る財産目録該当なし

監査報告

監査を実施した結果、財務諸表は適正に処理されていることを認めます。

(監査日/2016年11月17日、18日)

監事 瀧谷 和隆

監事 小沼 千佳子

2016年度事業活動計画 2016年10月1日～2017年9月30日

1. プロジェクト型活動助成基金（名称案）を創設します。

（状況）

NPO法施行以来、大きな課題であった寄附免税の制度設計が一定の成果を生み出しました。法人格、金融、寄附を3本の柱とするNPOシステムの外形は整いつつありますが、寄附免税制度の活用は制度ができてても不十分な状態です。

一方、多くのNPOにとって行政からの助成金等は「狭き門」であり、活動資金の調達はもっとも大きな課題です。

（目的）

当ファンドが認定法人としての制度的メリットを活用し、個別NPOのプロジェクト型事業資金を個別基金として一般募集し、資金調達をサポートします。

（方法）

- ① プロジェクトはNPO等からの公募とします。
- ② 造成する基金の枠は、公募状況やプロジェクト内容を踏まえ理事会での決定とします。
- ③ 今年度の目処として造成する基金総額は300万円～500万円程度とします。
- ④ 事務は従来通り、北海道NPOサポートセンターに委託し事務費は基金総額の10%とします。
- ⑤ インターネットの活用が重要です。その為、ホームページを充実します。チラシその他を作成し広報活動を行います。
- ⑥ その他の実施細則は別途、理事会で決定します。
- ⑦ 希望するNPOに対して資金調達と併せ、組織基盤強化を北海道NPOサポートセンターの協力で行います。

2. NPOへの助成金配分事業を行います。

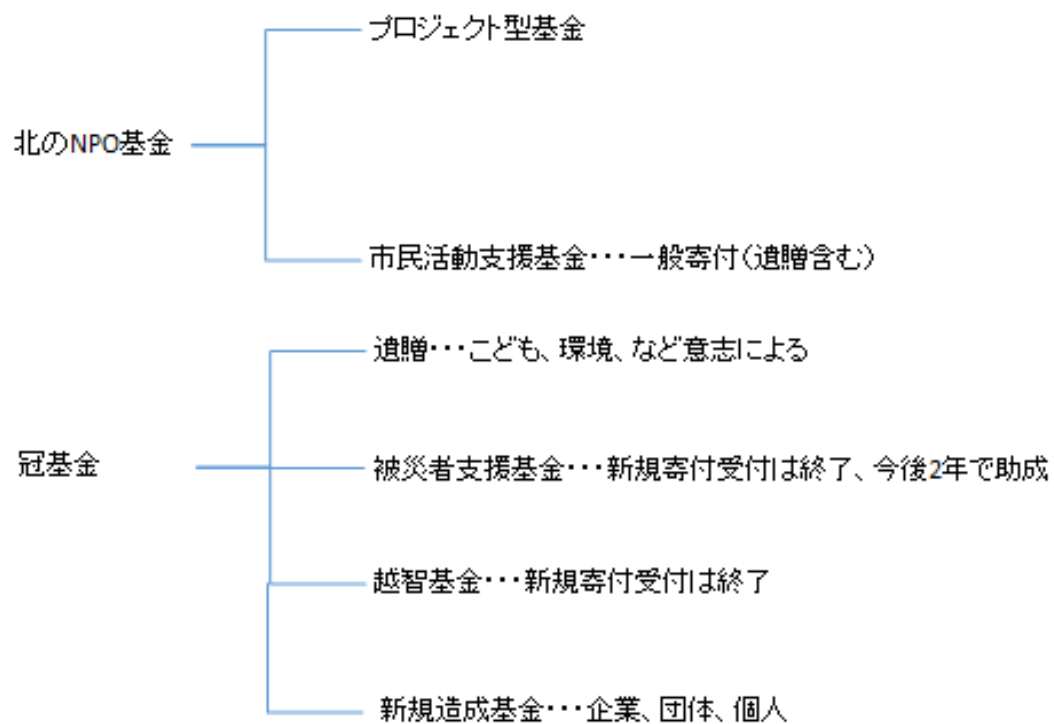
- ① 上記のプロジェクト型と並行して、一般寄附の募集に努めます。
- ② 一般寄附は越智基金への繰入とせず、一般寄附基金（名称別途）とし越智基金と協働で助成金配分事業を行います。一般寄附基金の事務委託は北海道NPOサポートセンターとし、委託費は基金総額の10%とします。

3. 被災者支援基金の助成公募について

大震災から5年が経過してきましたが、北海道内で避難生活を送っている人たちはまだ相当数います。住宅の公的支援が打ち切られる等、先が見えない中で被災者支援に地道に取り組むグループ方々が各地におりますが、潜在化してきました。このことを踏まえ、支援基金の在り方も変化が求められていると思われます。来年度以降は公募による基金支援を行います。

公募は最大2回/年、総額200万円/年度とします。1回で総額に達した場合は2回目は行いません。

2. 講義、各種調査対応、メディアへの掲載等の情報発信を通じて、個人や団体等からの基金の原資を増やす活動を行います。



2016年度事業活動予算 2016年10月1日～2017年9月30日
 特定非営利活動に係る事業活動計算予算書
 2016年10月1日から2017年9月30日まで

特定非営利活動法人北海道NPOファンズ

単位:円

科目	前年度決算	予算	備考
I 経常収益			
受取寄付金	177,876	5,178,635	
事業収益	0	30,000	
受取助成金	0	300,000	損保ジャパン
受取利息	673	1,000	
経常収益計	178,549	5,509,635	
II 経常費用			
1.事業費			
市民活動支援基金 (プロジェクト型活動助成)		4,000,000	内10% 事業への業務委託
市民活動支援基金 (一般活動助成)		1,000,000	内10% 事業への業務委託
越智基金助成金	840,000	1,000,000	
被災者支援助成金	200,000	2,000,000	
AFH基金助成金	0	0	
台風救済支援助成金	0	207,501	
事業費合計	1,040,000	8,207,501	
2.管理費			
旅費交通費	500	10,000	新設基金説明のため等 NPO基盤強化資金助成より拠出
印刷費		90,000	新設基金説明のため等 NPO基盤強化資金助成より拠出
広告宣伝費		200,000	WEB構築・運営 NPO基盤強化資金助成より拠出
通信費	795	1,000	
租税公課	1,800	1,000	
業務委託費	240,000	240,000	北海道NPOサポートセンターへ
管理費計	243,095	542,000	
経常費用計	1,283,095	8,749,501	
当期正味財産増減額	△ 1,104,546	△ 3,239,866	
前期繰越正味財産額	12,342,805	11,238,259	
次期繰越正味財産額	11,238,259	7,998,393	

その他の事業会計 活動予算書 実施予定なし

以上